

Unified Contact Center Express 管理 ページの脆弱性

Critical	アドバイザーID : cisco-sa-20090715-uccx	CVE-2009-2047
	初公開日 : 2009-07-15 16:00	2047
	バージョン 1.1 : Final	CVE-2009-2048
	CVSSスコア : 9.0	2048
	回避策 : Yes	
	Cisco バグ ID :	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Unified Contact Center Express (Cisco Unified CCX) サーバは Customer Response Solutions (CRS) の管理 ページでディレクトリ トラバーサル脆弱性およびスクリプト注入脆弱性が両方および Cisco Unified IP Interactive Voice Response (IVR) (Cisco Unified IP IVR) 製品含まれています。これらの脆弱性の不正利用はサービス拒否状態、情報の漏えい、または特権 拡大 攻撃という結果に終る可能性があります。

Cisco は Cisco Unified CCX ソフトウェアの最新バージョンのこれら二つの脆弱性に対処するフリーソフト アップデートをリリースしました。

このアドバイザーは [715-uccx](#) で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

Cisco Unified CCX サーバーで実行のすべてのバージョンはこれらの脆弱性から下記のものを含むために次のソフトウェア影響を受けるかもしれません:

- Ciscoカスタマー 応答ソリューション (CRS) バージョン 3.x、4.x、5.x、6.x および 7.x
- Cisco Unified IP Interactive Voice Response (IVR) (Cisco Unified IP IVR) バージョン 3.x、4.x、5.x、6.x および 7.x
- Cisco Unified CCX 4.x、5.x、6.x および 7.x
- IP Contact Center Express Cisco Unified バージョン 3.x、5.x、6.x および 7.x

- Ciscoカスタマー応答アプリケーション バージョン 3.x
- Cisco IP Queue Manager (IP QM) バージョン 3.x

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.1	2009- July-16	変更された修正済みソフトウェア バージョン
リビジョン 1.0	2009- July-15	初版リリース

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。